

# 図書だより 読書感想文特集

令和4年度



もうすぐ夏休みです。今年も本を読んで、青少年読書感想文全国コンクールに応募しましょう。  
対象の本は、課題図書と自由図書の2種類があります。  
夏休みになる前に本を読んでおくと、あとは書くだけです。早めに準備しましょう。

## 第68回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書の紹介



『**セカイを科学せよ!**』安田夏菜／講談社

すべてが規格外の転校生は、オタク的に「虫」が大・大・大好き。生物班の活動存続を掛け、学校に「科学的な取り組みの成果」を示さなければならなくなった科学部の面々。ミックスルーツの中学生が繰り広げる、バイオロジカル・コメディ。



『**海を見た日**』M・G・ヘネシー／鈴木出版

それぞれの事情で、養母の家に預けられた3人の子どもたち。だが、バラバラの方向を向いていて、向き合わずに過ごしてきた。そこへ新しくアスペルガー症候群の男の子が仲間入りし、母親に会いたいという願いをかなえるために4人は冒険に出かけることになる。



『**江戸のジャーナリスト 葛飾北斎**』千野境子／国土社

90歳まで絵筆をとった人気浮世絵師・葛飾北斎。情報の限られた江戸時代に、広く日本の外からも情報を収集した超人・北斎の真の姿をあぶりだすノンフィクション。

『**青少年読書感想文全国コンクール入賞作品集**』毎日新聞出版もあります！⇒



## 《おすすめ自由図書》

### 家族とは



『**青空のむこう**』アレックス・シアラー／求竜堂

突然の事故で死んでしまった少年ハリー。あるときハリーは青空のむこうから地上に降りてくる。やり残したことがあるから…。

『**博士の愛した数式**』小川洋子／新潮文庫

「ぼくの記憶は80分しかもたない」博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが貼留めてあった。あまりに悲しく暖かい、奇跡の愛の物語。

『**ホームレス中学生**』田村裕／幻冬舎

父親の解散宣言で、13歳の僕は突然家を失う。笑って泣ける貧乏自叙伝。

『**生きるほくら**』原田マハ／徳間書店

いじめを受け、引きこもりだった麻生人生。母にも見捨てられて、夢科で一人暮らしを続ける祖母を訪ねた。

『**そして、バトンは渡された**』瀬尾まいこ／文藝春秋

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子。だが彼女はいつも愛されていた。

『**52ヘルツのクジラたち**』町田そのこ／中央公論新社

自分の人生を家族に搾取されてきた女性と母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。彼らが出会う時、新たな物語が始まる。



### 名作

『**モモ**』ミヒャエル・エンデ／岩波書店

この世にあらわれた時間泥棒のせいで世界は荒んでいく。人々を救ったのは無口な少女「モモ」だった。

『**羅生門**』芥川龍之介／理論社

荒れ果てた門の上で行き場を無くした男が見たものは、死体の髪を抜く老婆の姿だった…。

『**杜子春**』芥川龍之介／角川文庫

人間に愛想をつかし、世の中にむなしさを感じた杜子春は、仙人の弟子になる。

何があっても口をきいてはいけないという試練を与えられるが…。



裏面に続く…

## 『坊っちゃん』 夏目漱石／角川文庫

自ら英語教師として松山の中学に赴任した経験を背景にした作品。波瀾万丈の日々をユーモアたっぷりに描く、不朽の名作。

## 青春

### 『きみの友だち』 重松清／新潮文庫

「友だち」の本当の意味をさがす連作長編。

### 『カラフル』 森絵都／文春文庫

死んだはずの僕は、自殺を図った少年の体にホームステイすることになった。

### 『夏の庭』 湯本香樹実／福武書店

僕は、人が死ぬ瞬間を見てみたいという好奇心から、一人暮らしの老人を見張ることにした。

### 『一瞬の風になれ』 佐藤多佳子／新潮文庫

中学時代はサッカー部だった主人公新二は、高校の陸上部で自分の才能を開花していく。

### 『西の魔女が死んだ』 梨木香歩／新潮文庫

中学生になってから不登校になってしまった少女まいは、その夏を西の魔女と一緒に過ごした。

### 『君の隣臓をたべたい』 住野よる／双葉社

偶然、僕が拾った1冊の文庫本。それはクラスメイトである山内桜良が綴った、秘密の日記帳だった。

### 『夜のピクニック』 恩田陸／新潮文庫

全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという北高の伝統行事、歩行祭。

貴子は3年間誰にも言えなかった秘密を清算するために歩行祭に臨む一。

### 『コーヒーが冷めないうちに』 川口俊和／サンマーク出版

「ここに来れば過去に戻れるって本当ですか？」不思議な噂のある喫茶店を訪れた

4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語。

### 『ツナグ』 辻村深月／新潮社

一生に1度だけ、死者との再会をかなえてくれるという「使者」。それぞれの想いを抱えた一夜の巡り会いは、何をもたらすのだろうか。



## 考えさせられる

### 『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎／マガジンハウス

知的好奇心旺盛なコペル君は、父親代わりのおじさんに導かれながら成長していく。

### 『アルジャーノンに花束を』 ダニエル・キイス／早川書房

32歳になっても幼児並みの知能しかないチャーリー・ゴードン。手術により彼の知能は向上し、ついに天才へと変貌する。知を求めさまよう青年がやがて知る、ほんとうの愛とは？

### 『ほくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 ブレイティみかこ／新潮社

大人の凝り固まった常識を、子供たちは軽く飛び越えていく。

世界の縮図のような日常を描く、落涙必至のノンフィクション。

### 『センス・オブ・ワンダー』 レイチェル・カーソン／新潮社

未知なる神秘に目をみはる感性を取り戻し、発見の喜びに浸ろう。

環境の保護に先鞭をつけた女性生物学者が遺した世界的ベストセラー。

### 『杉原千畝物語 命のビザをありがとう』 杉原幸子／金の星社

1939年リトアニア日本領事館の杉原千畝は、外務省の命令に背いてユダヤ人のためにビザを発給し続けた。

### 『スティーブ・ジョブズ』 学研教育出版

「シンク・ディファレント」をモットーに、次々に革新的なIT機器を生み出し、人々のライフスタイルを劇的に変えた天才の足跡をたどる。

### 『木を植えた男』 ジャン・ジオノ／あすなろ書房

フランスの山岳地帯にただ一人とどまり、荒れ果てた地を緑の森によみがえらせたエルゼアール・ブフィエの半生。



\* 他にもたくさん図書室に展示してありますので、見に来てくださいね \*